

水田園芸に取り組む上での留意点

～初めての栽培で失敗しないために～

1. 栽培計画は無理をせず

- 初めて野菜を作る場合、栽培しやすい時期、品種を選び、無理のない栽培計画を立てましょう。

※詳細は県・JAの指導員と相談しましょう。

2. 野菜栽培に適したほ場準備のポイント

- 水田の土は、粘土質で塊やすく、水はけが悪いです。一方、野菜は湿害に弱いため、**排水対策が特に重要となります。**排水対策機械を活用し、排水対策を徹底させましょう。
- 根の張りを良くするため、耕耘は数回行い、土を細かくしましょう。
- 排水対策・耕耘ともに、ほ場が乾いている時に実施してください。
- ほ場の準備が遅れ、定植が予定通りできないと苗が老化し、低収量につながります。降雨による準備の遅れも想定し、早めから準備を行いましょう。

<排水対策>

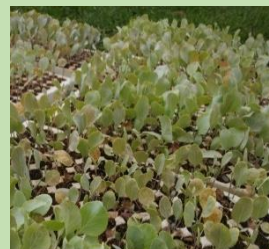


【額縁明渠の施工】



【弾丸暗渠の施工】

<収量低下の要因>



【老化した苗】



【根張りが悪く生育不良】

3. 肥料は適切に

- 野菜にとっての肥料は、人間にとっての食事と同じです。適切な量とタイミングが大切です。基本的には栽培暦通りに施用しましょう。
- 降雨が続いた場合、散布した肥料成分が流出することがあります。必要に応じて次回の追肥を早めるなどの対応が必要となります。
- 水田の土は酸性を示す場合がほとんどです。土壤分析を踏まえ、石灰資材で調整しましょう。



【酸性土壤による生育障害例】

4. 雑草対策のポイント

- 雑草対策には除草剤を上手く活用しましょう。
- 定植した後、土壌処理型除草剤を散布し、雑草を生やさないようにします。土壌処理型の除草剤を散布する時は、ほ場が湿っていないと効果が落ちます。
- 畝を立てた後、定植までに期間があく場合、雑草が発生します。必要に応じて畝立て後に土壌処理型の除草剤を散布してください。



【除草剤の効果例(同一ほ場)】

5. 農薬の取り扱いでの注意点

- 使用する農薬は、最新の防除暦を参考にして選択しましょう。使用にあたっては、必ず**農薬のラベルを確認**し、使用方法、希釈倍率、回数等を確認してください。
- 病虫害の診断、農薬の選択等に不安がある場合は、県やJAの指導員に早めに相談しましょう。
- 薬害発生を回避するため、散布ノズルは野菜用（一般用）を使用してください。また、防除機を他の作物と共用している場合は、タンクや防除機を使用後にきちんと洗浄しましょう。

ラベルに記載された内容を遵守して使用しましょう

農薬取締法に基づいて登録された、対象の植物に適用のある農薬を、ラベルに記載された使用方法及び使用上の注意事項を守って使用しましょう。

農林水産省の登録番号があるのを確認しよう！

農林水産省登録番号○○○号
有効成分：○○○○…30%

作物名	適用農薬法	希釈倍率	使用時期	散布回数	使用方法
梨木類	アメリカシロヒトリ	2000倍	発生初期	4回	散布
さくら	モンクローシチホコ	2000倍	発生初期	4回	散布
つばき	チャドクガ	1500倍	発生初期	4回	散布

使用基準(使用方法)はしっかり守る！

注意事項をきちんと読んで守ろう！

※注意書
殺虫剤類は、できるだけ連年使用しない。
*アメリカシロヒトリは、殺虫剤類を、必ず1年以上おきかえて使用する。

【農薬ラベルの確認】



【薬害例】

6. 施設栽培での注意点

- 加温機や開閉装置等の電気機器を使用しているハウスの場合、停電により設定がリセットされる場合があります。停電した場合、必ず設定を確認しましょう。



【ハウス内環境制御装置】

〈問い合わせ先〉

島根県東部農林水産振興センター

農業振興部 tel:0852-32-5687
安来農業部 tel:0854-22-2341
雲南事務所農業部 tel:0854-42-9570
出雲事務所農業部 tel:0853-30-5600

西部農林水産振興センター

浜田農業部
県央事務所邑智農業部
県央事務所大田農業部
益田事務所農業部
隠岐支庁農林水産局農業振興部
農業技術センター技術普及部（東部）
（西部）

tel:0855-29-5621
tel:0855-72-9589
tel:0854-84-9706
tel:0856-31-9611
tel:08512-2-9683
tel:0853-22-6934
tel:0855-29-5583